

第 1 回中岡崎駅バリアフリー基本構想策定協議会での意見に対する対応方針

意見	● 国の補助金の対象外である設備や施設に関しても、まずは知っていくことが大切だと思います。障がい者や高齢者を考慮した設計やバリアフリー整備に取り組んでいる施設があるので、その見学をして、あるべき設備や施設を知ること、今後に向けた働きかけのきっかけにも繋がるかと思います。後日そのような機会を設けていただければと思います。
対応	➤ 岡崎市福祉の村「友愛の家」について写真資料を第 2 回協議会資料として提示。 ➤ 「友愛の家」の現地視察を希望する場合は個別対応するため事務局まで御連絡ください。

意見	● ストレッチャーでも移動しやすい動線の確保やおむつ替えが可能なバリアフリースポットの設置が必要だと感じています。視覚障がい者はホームドアを求めているが、そうするとホームが狭くなり、車椅子が通行しにくかったり、聴覚障がい者は文字盤を求めているという声があります。計画及び設計段階から、基準では満足できない利用者もいることを意識してもらいたいと思っています。 ● 図面上のエレベーターではバギーや大型車椅子等が入ることができないと思われます。また、救急用のストレッチャーも入ることができないと思われるため、エレベーターのサイズを広げてもらうことを提案します。(会議後の書面意見) ● 図面上では、コンコースからエレベーターを利用する際、エレベーター前で方向を変える仕様となっています。バギーや大型車椅子利用者にとっては無駄な動きや曲がることができない等、使い勝手が悪くなります。今回のエレベーターは出入口を 2 か所設ける仕様となっているため直線で利用できる動線となるよう配慮してください。(会議後の書面意見) ● バリアフリーストイレについては間口を広げ、成人用ベッドの設置と介助スペースを確保してください。(会議後の書面意見) ● ホーム階の階段部分とホーム端との間での車椅子と乗降客とのすれ違いに不安を感じます。ホームゲートを設置して落下防止を施すことを強く要望します。(会議後の書面意見)
対応	➤ 基本構想には、国のガイドラインを満たすことだけでなく、高齢者や障がい者に加え、一般の駅利用者にとっても、利用しやすい駅となることを目指した方針を記載したいと考えています。なお、中岡崎駅整備に関する事項のため、愛知環状鉄道にもお伝えさせていただきますが、設計上及び維持管理等の課題への考慮が必要です。 ➤ 心のバリアフリーの推進において、バギーや大型車椅子等の啓発を図ります。

意見	● 岡崎公園前駅が重点整備地区内となることで、何か取り組まなくてはならない事項は発生しますか
対応	➤ 岡崎公園前駅については中岡崎駅との乗り継ぎを考慮して生活関連施設に指定する方針ですが、特定事業を位置付ける予定はありませんので、特に義務事項等は発生しません。 ➤ 特定事業の内容については中岡崎駅バリアフリー基本構想（素案）P. 32 のとおり

意見	● バリアフリー新法に係る特定路外駐車場の基準では幅 350 cmの基準はありますが、奥行に関する基準はありません。車椅子を車後部から乗降させる場合には 300 cm程の空きが必要です。実態を把握して活用できる駐車場の整備をお願いします。（会議後の書面意見）
対応	➤ 整備を行う際の参考とさせていただきます。

意見	● 視覚・聴覚障がい者団体から意見を集めること。（会議後の書面意見）
対応	➤ 岡崎市障がい者自立支援協議会での意見聴取やパブリックコメントなどを通じて意見を伺っていきます。